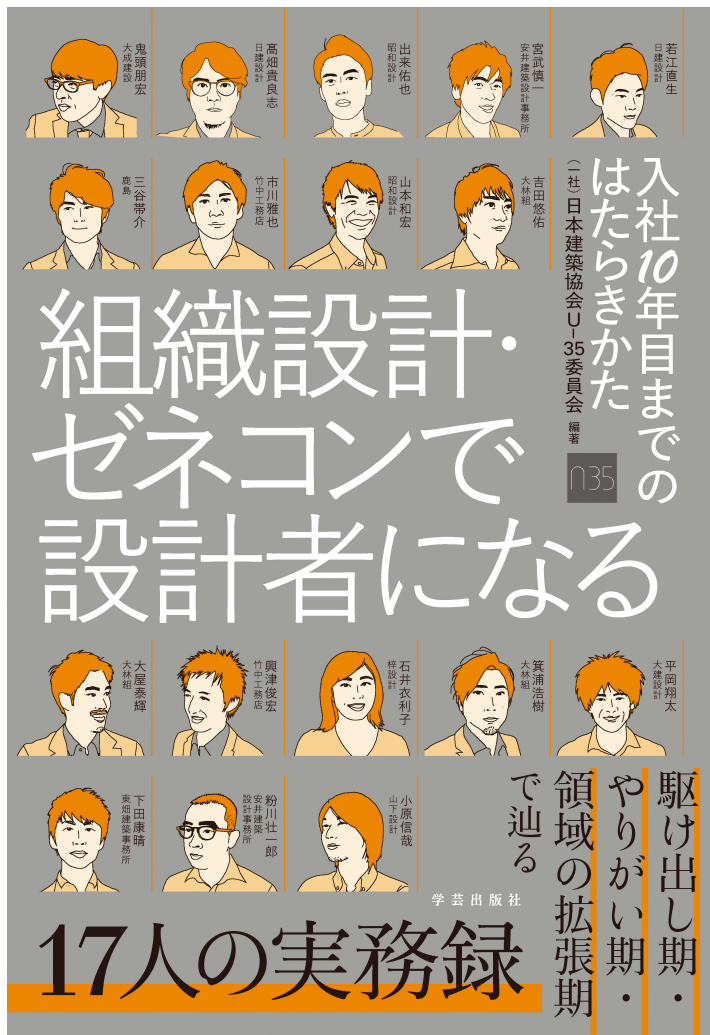




組織設計事務所やゼネコン設計部で働く社会人1～10年目の若手設計者たちは、日々の仕事にどんなやりがいを感じ、どんな壁にぶつかって成長していくのか。
建築・都市プロジェクトの最前線で働いてきた経験や学びを共有し、所属組織を超えて互いに切磋琢磨する日本建築協会 U-35 委員会のメンバーが、**リアルな実体験**を持ち寄る。

組織設計・ゼネコンで設計者になる
 入社10年目まではたらきかた

(一社) 日本建築協会 U-35 委員会 編著
 四六判・224頁・2200円＋税・学芸出版社

2023年4月15日新刊発売!!

1章 無我夢中の駆け出し期 (1～3年目)

- ・建築は無数の対話でできている
- ・だれよりも早く手を動かす
- ・「20年先」を提案する設計者になる
- ・施主のイメージから可能性を広げる力
- ・コンセプトを見える化してコラボレーションする

座談会① 自分の無知を思い知らされる駆け出し期
 社会を見つめ、「建築」の領域を拡張する
 社外活動コラムⅠ 学生と一緒に次世代の空間を構想する

2章 難局こそやりがい期 (4～7年目)

- ・先入観を乗り越える楽しさ
- ・ベテランに支えられつつプロジェクトの舵を取る
- ・ミリ単位の調整でアイデアを実現する
- ・一歩踏み込んだデザインをチームで実現する
- ・工業デザインの精度でゼロから寸法を問い直す
- ・ニーズをシーンに変換するユーザーヒアリング

座談会② 自信を掴みつつ、葛藤も生まれるやりがい期
 社外活動コラムⅡ まちに飛び出てフィールドワークを行う

3章 デザイン領域の拡張期 (8～10年目)

- ・前例のないディテールを編み出す
- ・計画に潜在する公共性をデザインコードにする
- ・積層型大規模木造のロールモデルをつくる
- ・組織のチームプレーを見つめ直す
- ・チームを導くトータルディレクション
- ・事業性を満たしつつ一步先の価値を提案する

座談会③ 自らの責任のもと、多角的な視野で動ける拡張期
 社外活動コラムⅢ 時代のニーズを探り、自らまちを楽しむ
 社外活動コラムⅣ 建築の外側で、業種を超えて社会を考える
 時代の変化と建築、設計者



(一社) 日本建築協会 U-35 委員会

日本建築協会内の若手設計者を
 中心に、主に組織に属する概ね
 35歳以下の設計者で構成され
 る。関西を拠点に、建築におけ
 る多様な価値の発信を目的とし
 て組織を超えたプラットフォーム
 づくりや都市のフィールド
 ワークなどを行う。

U-35 委員会 HP
 (書籍詳細はこちら)

